

# 掘り出された広島戦争遺跡

## 第一回

8月21日(月) 10:00~11:30

### 「広島大学構内から出土した 遺物が語る戦時中の暮らし」

講師：広島大学総合博物館埋蔵文化財調査部門  
研究員 石丸 恵利子 さん

広島大学ではキャンパス内にある埋蔵文化財の調査を行い、遺跡の保護や出土した資料を研究に役立てています。広大病院や医学部などがある霞キャンパスの場所には、明治期から太平洋戦争の終わりまで、兵器や弾薬を補給する広島陸軍兵器支廠という施設がありました。

第一回目は、調査で発見された建物跡や食器類から読み取れる当時の暮らしや文化について解説します。

## 第二回

8月28日(月) 10:00~11:30

### 「平和記念資料館の発掘調査」

講師：公益財団法人広島市文化財団文化財課  
学芸員 楳木 敬太 さん

広島平和記念資料館の周辺は、被爆当時は材木町と呼ばれた地域で、寺院や民家・商家などが立ち並ぶ広島でも指折りの繁華街でした。

第二回目は、発掘調査によって明らかになった被爆時の街並みの様子や、さらに下層にある広島城下町の様子を紹介します。

## ●「掘り出された広島戦争遺跡」講座関連展示●

【広島大学総合博物館 第12回ふむふむギャラリー】

講座の開催に併せ、広島大学医学部などの敷地内から出土した文化財の展示を中心に、発掘調査の様子をパネルで紹介します。また、講座第一回目には講師による特別解説を予定しています。

■展示期間／平成29年8月12日(土)～  
平成29年9月3日(日)

■場 所／牛田公民館 1階ロビー

防衛食容器



●7月のロビー展示

## 「戦争を見てきた食器たち」



現在広島大学病院や医学部などがある霞キャンパスは、かつて陸軍の兵器支廠(武器弾薬の工場・倉庫)や、県庁舎として利用されていました。霞地区の広島大学構内や、附属小中高等学校のある翠地区の発掘調査で出土した、戦時中の暮らしを物語る建設物のパネル展示や、食器類等、近代の埋蔵物を展示します。「統制食器」「軍用食器」「防衛食容器」など当時の暮らしや歴史について紹介します。

◆期間 7月6日(木)～ 8月5日(土) ◆場所 瀬野公民館 1階 ロビー

◆～特別企画～ 7月20日(木)14:30～17:00は、瀬野公民館1階ロビーにて広島総合博物館研究員による展示解説を開催します!(申込不要)是非、お越しください。